



第2回「フレール館ものがたり新人賞」受賞3作品決定！
～未来の児童書業界をリードする、新しい才能を発掘！大賞作はフレール館より刊行予定～

株式会社フレール館（本社：東京都文京区、代表取締役：飯田 聡彦、以下「フレール館」）の創業110周年を記念して2017年に新設した「フレール館ものがたり新人賞」の第2回受賞作品が決定いたしました。第2回となる本賞におきましても、未来の児童書業界をリードしていく新しい才能にめぐり合うことが出来ました。今後も本賞を通じて、業界の活性化を図るとともに、子どもたちの健やかな育ちを支える「知」と「感性」にあふれた素晴らしい児童文学作品を、世の中に送り出していきます。

■第2回「フレール館ものがたり新人賞」受賞作品について

大賞 受賞作品

☆フレール館より刊行予定！☆

『ハロー・マイ・フレンド』村上雅郁（むらかみ・まさふみ）

周囲に心を閉ざす倉木小夜子のたったひとりの友だちは、ほかの人には見えない黒猫。そんな小夜子のまえに転校生の三橋明来（あくる）が現れ、しつこくつきまとわれるように。小夜子と黒猫の警戒をよそに、明来はおどろくほど早くクラスに溶け込み人気者となった。しかし彼女には、大きな秘密があった…。

優秀賞 受賞作品

『けんか餅』桐生 環（きりゆう・たまき）

ときは江戸時代。菓子司の大手『鶴亀屋』の跡取りで、喧嘩っばいやい若旦那と、鶴亀屋に奉公し菓子職人を目指す少年・豆吉。若旦那の喧嘩騒ぎでそろって店を追い出され、主従ふたりきりの小さな菓子屋をはじめますが、またも若旦那が大福の皮の厚さをめぐって客と大喧嘩。騒ぎを落ち着かせたのは、豆吉が作った習作の大福、名づけて「けんか餅」だった。

『サマークエスト～はじまりの夏～』北山千尋（きたやま・ちひろ）

小学校6年生の田辺ヒロキは、10年前に父親に先立たれ、弁当屋で働く母親とふたりで暮らしている。ふとしたことから父親の昔の写真を見つけたヒロキは、父が死んだ海をたったひとりで見に行くことを決意する。なぜ父親はこの海へ入っていったのか……心のなかのわだかまりに決着をつけるため、ヒロキがいどんだサマークエスト。

※尚、贈呈式および懇親パーティーは、4月19日（金）午後2時から日本出版クラブホール（東京都千代田区）にて開催いたします。

■第3回「フレール館ものがたり新人賞」について

第3回「フレール館ものがたり新人賞」の募集開始は、2020年春を予定しております。本賞は、今後隔年で開催してまいります。

■フレーベル館の事業内容

アンパンマンや「ウォーリーをさがせ！」をはじめとした児童書の出版や、保育関連施設向けの遊具・教材・玩具の販売、そして室内あそび施設事業の展開など、子どもたちの健やかな育ちを支え続けるために、子どもに関わる事業を幅広く手がけています。

・フレーベル館コーポレートサイト <https://www.froebel-kan.co.jp/>

